

別紙2 令和6年度 自己評価書 作成日：1月30日 国分寺市立第一小学校 校長名 出町 桜一郎

教育目標：○考えを深める子 ◎ひとを思いやる子 ○からだをきたえる子
目指す学校像：自分や友達によさや成長、学ぶ喜びを実感できる学校
目指す児童・生徒像：元気に活動し、意欲的に学ぶ子 問題を論理的に解決し、学んだ事柄を活用できる子 心身とともくましく思いやりのある子
目指す教師像：子供と共に喜び、悩みを理解できる教師 教育公務員の自覚をもち行動できる教師 授業力向上へ意欲的な教師 児童、保護者、地域から信頼される教師

領域	中期目標	短期目標	具体的方策	努力指標 (中間)	努力指標 (最終)	成果指標 (中間)	成果指標 (最終)	分析コメント	改善策
確かな学力の定着	問題解決的な学習を積極的に取り入れ、知識・技能の習得とともに思考力・判断力・表現力、及び学びに向かう力を育成する。	協力的な学びや一人一人に応じた個別最適な学びを授業に取り入れ、主体的・対話的で深い学びの実現を図る。	PDCAに基づいた授業改善・指導方法の工夫に努め、児童の学力の向上を目指す。また、校内研究「国分寺学」を中心に地域に親しみ、学び、貢献する授業を推進する。	3	3	3	3	1年生から自分の考えをノートに書いたり、友達に伝えたりする時間を取り入れている。また、タブレット端末を活用し児童間の意見交流や表現力の育成に取り組んだ。	どの教科でも友達と対話する時間を設け自身の学びが深まるようにする。必要に応じて教科横断的に学習を計画し実践していく。
		ねらいを明確にした分かりやすい授業を展開するとともに、基礎的・基本的な学習の確実な定着や表現力の育成を図る。	ねらいに合わせて、1人1台タブレット端末を効果的に活用するなど、基礎・基本の学習の定着や表現力の育成に努める。	2	3	2	4	基礎基本の定着のため、プリントやタブレット端末を活用している。ノートと違いその子の考えや途中計算式が教員には分からないため、どこでつまづいているのか分かりづらい。	学習内容や児童の実態に応じてノートやタブレット端末を選択し基礎基本の定着を図る。タブレット端末を用いた学習の評価について研修会を実施する。
豊かな人間性の育成	誰もが大切にされる温かな人間関係の構築に努め、思いやりのある児童を育てる。	生命尊重、人権尊重を基調とした豊かな人間関係の構築を目指した教育活動を推進する。児童が互いの立場や違いを認め、助け合い、差別や偏見のないよりよい学校生活を送ろうとする意識を高める。	学校全体で「いじめはしない・させない・見逃さない」を徹底し、道徳科の授業を創意工夫して展開し、児童主体の未然防止に向けた取組をする。	3	3	3	3	全教職員で児童一人一人を見て情報共有し、いじめの未然防止に努めている。また、児童会でも、全校児童に向けて、いじめ防止を訴える発表や周りの人への感謝の気持ちを伝えるメッセージカードの取り組みを実施した。	全教職員で児童一人一人を見ていき、いじめ兆候が見られた際には、校内委員会を開き、担任一人に対応せず、組織的に対応していく。児童一人一人が相手を思いやり、豊かな人間性の育成に努めていく。
			挨拶運動を実施し、児童を取り巻く言語環境を整え、正しい言葉遣いやマナーを身に付けさせる。	3	3	3	3	教員が率先して挨拶やお礼などその場に合わせた実践し、児童への啓発を行った。また、挨拶運動で高学年がすすんで全校児童に挨拶し、学校全体に挨拶が広がっている。	挨拶運動は定期的に行い、全校で挨拶の定着を図る。そのためにも日頃から教員が挨拶や言語環境を意識して児童に接していく。
健康や体力の向上	食育を推進し、食に興味・関心を持たせるとともに、丈夫な体を作ろうとする児童を育てる。	体育や特別活動において活動を工夫・改善を通して、児童の体力向上や心身の健康の維持・増進に努める。	体育や特別活動において、児童の関心や意欲を高める指導・授業改善を図り、外遊びを奨励し、運動の日常化を推進する。伝統的な日本の食文化や地場野菜「こくベジ」に触れる体験等を積極的に取り入れる。	3	3	3	4	「こくベジ」について、給食委員会のお昼の放送やキャラクター作りなど、児童が興味をもてるような取り組みをしている。また、児童集会で集会委員会や運動委員会が企画・実施し、楽しく取り組んでいる。	引き続き、教員主導ではなく、児童が主体となり取り組めるよう、導いていく。また、体育の学習や特別活動を通して、体力を高める運動や運動遊びを取り入れ運動の日常化を図る。
家庭・地域との連携	地域に開かれた学校づくりを推進する。	コミュニティ・スクール(CS)初年度として、保護者・地域と共にある開かれた学校づくりを推進する。	CSを活用し地域人材や地域教材を学校教育に生かし授業実践を行うとともに、学校公開、ブログ、HPにより情報を発信する。	2	3	3	4	2学期には、どの学年も地域人材や地域教材を活用した授業を行うことができた。出前授業を実施するだけでなく、学んだことを地域や他校へ発信することもできた。	CS委員の方々に御協力いただき、地域教材や人材を生かし、地域の良さを児童が実感し、地域へ発信できるよう授業計画を進めていく。

別紙3 令和6年度 学校関係者評価書 作成日：1月30日 国分寺市立第一小学校 校長名 出町 桜一郎

教育目標：○考えを深める子 ◎ひとを思いやる子 ○からだをきたえる子
目指す学校像：自分や友達の下さや成長、学が喜びを実感できる学校
目指す児童・生徒像：元気に活動し、意欲的に学ぶ子 問題を論理的に解決し、学んだ事柄を活用できる子 心身とともくましく思いやりのある子
目指す教師像：子供と共に喜び、悩みを理解できる教師 教育公務員の自覚をもち行動できる教師 授業力向上へ意欲的な教師 児童、保護者、地域から信頼される教師

領域	中期目標	短期目標	具体的方策	努力指標 (中間)	努力指標 (最終)	成果指標 (中間)	成果指標 (最終)	今後の課題	学校関係者評価記入欄
確かな学力の定着	問題解決的な学習を積極的に取り入れ、知識・技能の習得とともに思考力・判断力・表現力、及び学びに向かう力を育成する。	協働的な学びや一人一人に応じた個別最適な学びを授業に取り入れ、主体的・対話的で深い学びの実現を図る。	PDCAに基づいた授業改善・指導方法の工夫に努め、児童の学力の向上を目指す。また、校内研究「国分寺学」を中心に地域に親しみ、学び、貢献する授業を推進する。	3	3	3	3	どの教科でも友達と対話する時間を設け自身の学びが深まるようにする。必要に応じて教科横断的に学習を計画し実践していく。	落ち着いた学習していました。国分寺学につながる教科等横断的な視点の授業が多く見られました。
		ねらいを明確にした分かりやすい授業を展開するとともに、基礎的・基本的な学習の確実な定着や表現力の育成を図る。	ねらいに合わせて、1人1台タブレット端末を効果的に活用するなど、基礎・基本の学習の定着や表現力の育成に努める。	2	3	2	4	学習内容や児童の実態に応じてノートやタブレット端末を選択し基礎基本の定着を図る。タブレット端末を用いた学習の評価について研修会を実施する。	先生方が児童の実態に合わせ、教材を工夫していました。ノート指導の見本となる先生方の板書が構造化されていて、素晴らしいと思いました。
豊かな人間性の育成	誰もが大切にされる温かな人間関係の構築に努め、思いやりのある児童を育てる。	生命尊重、人権尊重を基調とした豊かな人間関係の構築を目指した教育活動を推進する。児童が互いの立場や違いを認め、助け合い、差別や偏見のないよりよい学校生活を送ろうとする意識を高める。	学校全体で「いじめはしない・いじめを見逃さない」を徹底し、道徳科の授業を創意工夫して展開し、児童主体の未然防止に向けた取組をする。	3	3	3	3	全教職員で児童一人一人を見ていき、いじめ兆候が見られた際には、校内委員会を開き、担任一人一人に対応せず、組織的に対応していく。児童一人一人が相手を思いやり、豊かな人間性の育成に努めていく。	登校中渋っている子に高学年の児童が声を掛け優しく学校へ連れて行っている姿が温かいです。いじめ、不登校については、中学校との引継ぎを確実に行っていただきたい。
			挨拶運動を実施し、児童を取り巻く言語環境を整え、正しい言葉遣いやマナーを身に付けさせる。	3	3	3	3	挨拶運動は定期的に行い、全校で挨拶の定着を図る。そのためには日頃から教員が挨拶や言語環境を意識して児童に接していく。	高学年が低学年に教えている姿が温かいです。これからも続け、地域でも挨拶ができるようお願いいたします。
健康志向や上体力	食育を推進し、食に興味・関心を持たせるとともに、丈夫な体を作ろうとする児童を育てる。	体育や特別活動において活動を工夫・改善を通して、児童の体力向上や心身の健康の維持・増進に努める。	体育や特別活動において、児童の関心や意欲を高める指導・授業改善を図り、外遊びを奨励し、運動の日常化を推進する。伝統的な日本の食文化や地域野菜「こくべじ」に触れる体験等を積極的に取り入れる。	3	3	3	4	引き続き、教員主導ではなく、児童が主体となり取り組めるよう、導いていく。また、体育の学習や特別活動を通して、体力を高める運動や運動遊びを取り入れ運動の日常化を図る。	児童のアイディアを取り入れ工夫し楽しく食育や運動を進めているので、引き続きお願いします。
家庭・地域との連携	地域に開かれた学校づくりを推進する。	コミュニティ・スクール(CS)初年度として、保護者・地域と共にある開かれた学校づくりを推進する。	CSを活用し地域人材や地域教材を学校教育に生かし授業実践を行うとともに、学校公開、ブログ、HPにより情報を発信する。	2	3	3	4	CS委員の方々に御協力いただき、地域教材や人材を生かし、地域の良さを児童が実感し、地域へ発信できるよう授業計画を進めていく。	学習の成果を地域に発信していくことは、児童にとっても意欲を高めていく工夫だと思います。地域と協力して進めていきましょう。